青年部表彰制度

最優秀青年部アワード開催のお知らせ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
　平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて標記表彰制度につきましては、4 月 20 日に行われた第 47 回日板協/全板連青年部総会および第 23 回全国部長会議においてご案内させていただきました。
この度、本表彰制度について改めて下記の通りご案内させていただきますので詳細ご確認の上、期日までに申請いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

・2022 年度 日板協/全板連青年部新規事業　最優秀青年部アワードについて
・（別紙）最優秀青年部アワード 技術の部

以上

2022 年度　日板協/全板連青年部新規事業　最優秀青年部アワードについて

2022 年 4 月 20 日（水）
日板協/全板連青年部
最優秀青年部アワード担当役員一同

① 本表彰制度の経緯

最優秀青年部アワード（以降、本表彰制度）は各都道府県板金工業組合青年部の活性化や、各々の活動への動機づけに繋げることを目的として年に 1 度、全国青年部部長会議の場において日板協/全板連青年部部長が申請のあった都道府県板金工業組合青年部の活動のうち最も優秀なもの 1 つを表彰するもの。

本表彰制度は、その受賞を契機として魅力的な活動内容が他組合青年部に共有され、また受賞組合青年部においても青年部活動の意欲増進に繋がり、内外において青年部活動の価値向上に資するものと期待される。

② 提出方法

本表彰制度は別紙記載の“チームワーク”・“技術”・“マネージメント”の 3 部門より、選ばれた技術の部が今年度の募集課題となる。

別紙記入フォーマットに活動のようすがわかる画像とその説明文や実績内容等を記載の上、メールにて次項記載の提出先へ提出する。

③ 提出先

「日板協/全板連青年部最優秀青年部アワード」と題して、各都道府県板青年部部長が、当該組合所属ブロックのブロック長にデータ形式で提出する。

④ 提出期限

2022 年 11 月 30 日（水）

⑤ 表彰日時

2023 年 4 月開催予定の第 24 回全国青年部部長会議

⑥ 表彰内容

記念楯および表彰状

⑦ 本表彰制度に関する問合せ先/方法

「【問合せ】日板協/全板連青年部最優秀青年部アワード」と題して、各都道府県板青年部部長が、当該組合所属ブロックのブロック長宛にメールにて問合せを行う。

最優秀青年部アワード

技術の部

１．明確な目標と検証　（その事業に至った背景と何を目的に開催するのか、また今後に活かせるよう検証できているか）　20 点

２．参加率　（部員数に対してどれだけ多くの部員が参加されたか）20 点

３．技術向上　（納まりの技術や美観の向上等に繋がる内容であるか）20 点

４．知識共有　（参加者同士がそれぞれ持ち合わせている知識を共有できる場になっているか）　20 点

５．主体性　（事業全体を通して、参加者それぞれが主体的に行動しているか）　20 点

合計　１００点の採点方式

以下　例として

○○県板青年部

・事業内容　　たてひら屋根の軒先水回り研究
・開催場所　　○○県板金工業組合内実習室
・開催日時　　令和４年○月○日 00:00～00:00
・参加者　　部員数３３名　参加２２名　不参加９名　参加率６７％

たて葺き屋根材（たてひら）の軒先部で水の回りにくい納まり方を比較して検証する。

① 軒先（掴み９０度）
② 軒先（掴み４５度）
③ 軒先（掴み無し）

役割　部長　　事業の説明（なぜこの事業を開催したか等）
　　副部長、他役員　　軒先の納め方
　　部員　　準備・後片付け・運営補助

写真

○○青年部長が事業を開催する背景を説明

（なぜその事業にしたかを記載）

写真

参加者の事業風景

（参加人数や役割を記載）

写真

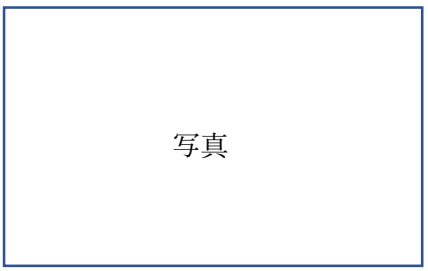
実際に水を流し実験

（技術の向上に繋っているかを記載）

写真

それぞれが納まりについて話し合う

（知識の共有に繋がっているかを記載）



準備や後片付け

（参加者それぞれが主体的に行動しているかを記載）

※写真の枚数制限はありません。

今回の事業への検証（部長の思い）

今回の事業を開催するにあたり、当組合青年部では若い部員も多く経験年数も少ない方もおられます。実際現場で検証しにくいことも多いので、青年部での講習会という形で学べる場を作りたいと考え企画いたしました。参加者はそれぞれが役割分担をすることで積極的に行動しスムーズな運営ができ、今後仕事にも活かせる技術や知識を身に付けるきっかけとなりました。今後も様々な内容で、青年部員の技術の向上や知識を共有できる事業を開催していきたいと思います。